

漁海況情報第6報 (2009年9月8日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0138

本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

表面水温は平年よりも低め、142°30'E付近100m深で5以下の冷水域が見られる

本県沿岸海域(142°30'E以西)の表面水温は19~23台となり、平年よりも概ね1~4低くなりました。また、沖合海域(142°30'E以东)の表面水温は17~19台となり、平年より約4~5低くなりました。

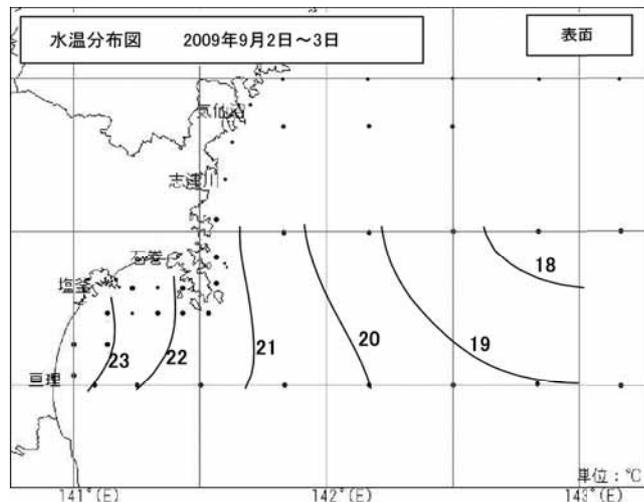
100m深水温については、沖合海域(142°30'E以东)で前月より約7~10降温して2~5台となり、平年より6~7と極めて低くなりました。142°E以西の沿岸寄りの海域では、概ね平年並みでした。[P1.水温水平分布図][P1.水温平年偏差図]

水温鉛直断面図をみると、雄勝沖合・亶理沖合(38°N)どちらのラインについても、全般的に表面から水深100m付近までの水温差が大きく、前月に引き続き水温躍層が見られます。[P2.水温鉛直断面図]

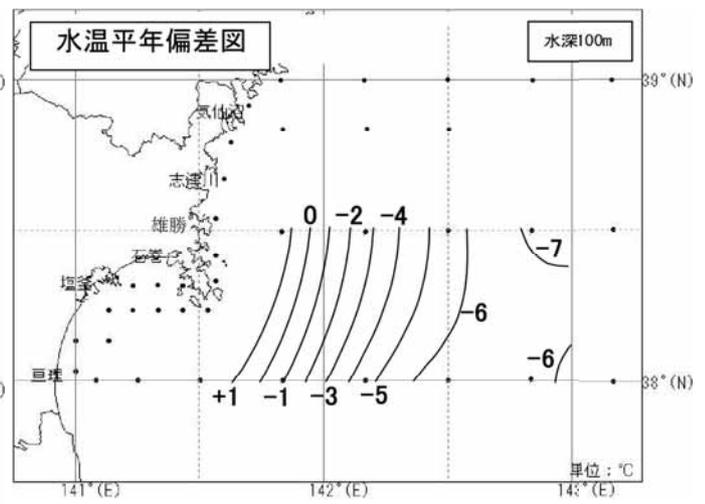
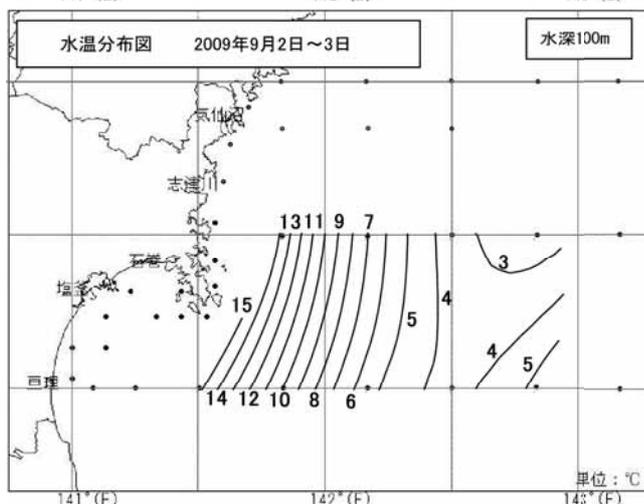
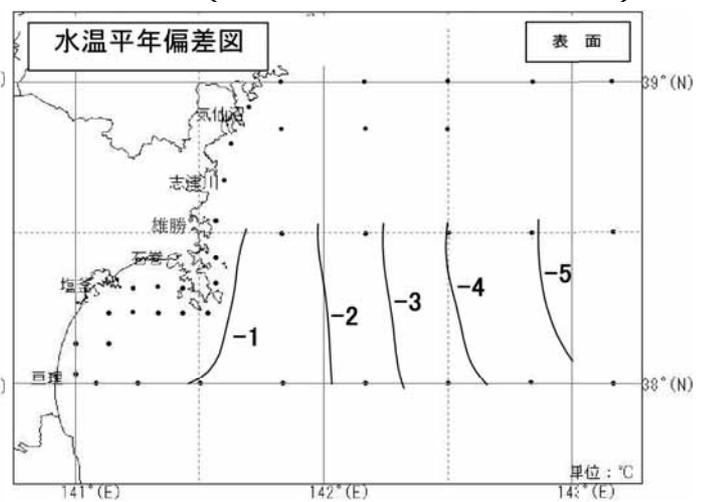
東北海域の表面水温の分布について、本県沿岸は20台の暖水に覆われていますが、沖合海域では冷水の影響も見られます。[P2.東北海域の海況図:(社)漁業情報サービスセンター]

なお、8月下旬の定地水温は、江島・歌津で平年よりやや低く、田代島で平年並みでした。[P2.定地海洋観測結果]

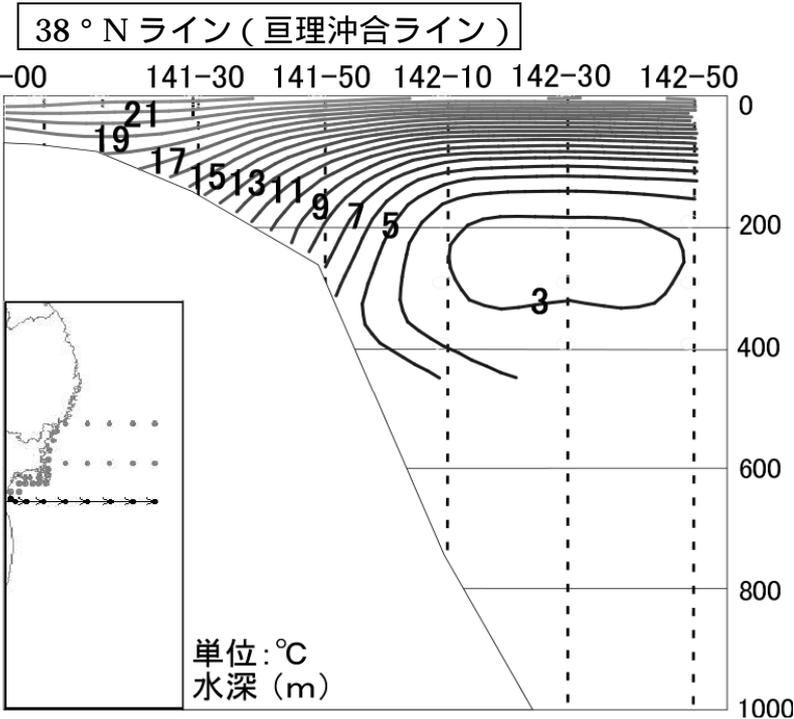
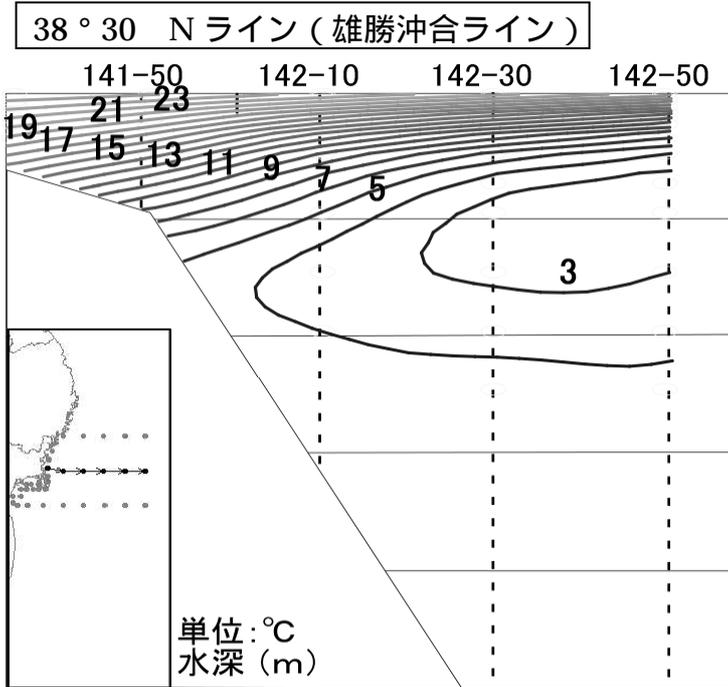
・水温水平分布図



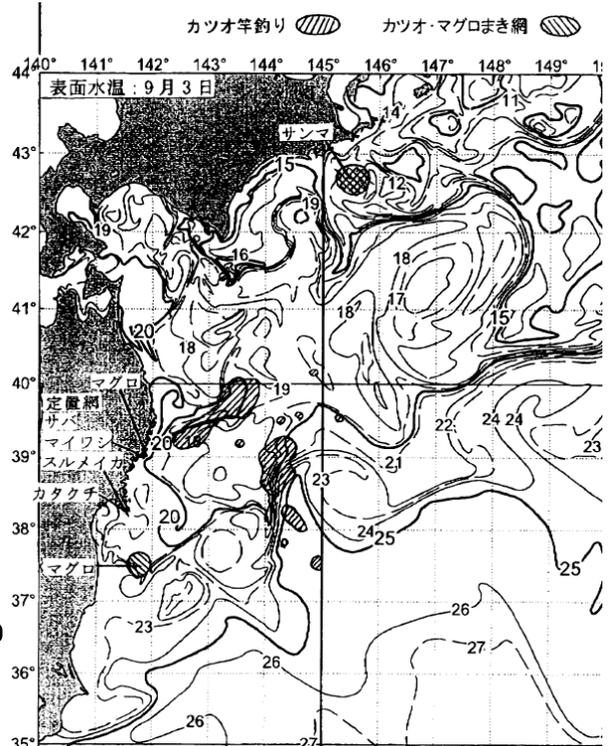
・水温平年偏差図(現在水温と平年水温との差)



・水温鉛直断面図



・2009年9月3日の東北海域の海況(表面水温)
(社)漁業情報サービスセンター



- 特記事項 (社)漁業情報サービスセンター**
- ・鹿島灘～金華山沿岸は20～24台。
 - ・金華山以北の沿岸は18～21台。
 - ・津軽暖流は20～21台。
 - ・近海では、15の南端は41°20'N・143°20'E、20の南端は37°45'N・142°20'E、25の北端は38°45'N・144°45'E。
 - ・近海の水温(2日)の前年比と平年比は低め主体。
 - ・37°N・142～143°Eと37～38°N・145°Eと147～148°Eに右回りの渦が引き続き分布。気仙沼～亶理沖(22～25)、下北半島沖(16～21)等に潮境が分布。

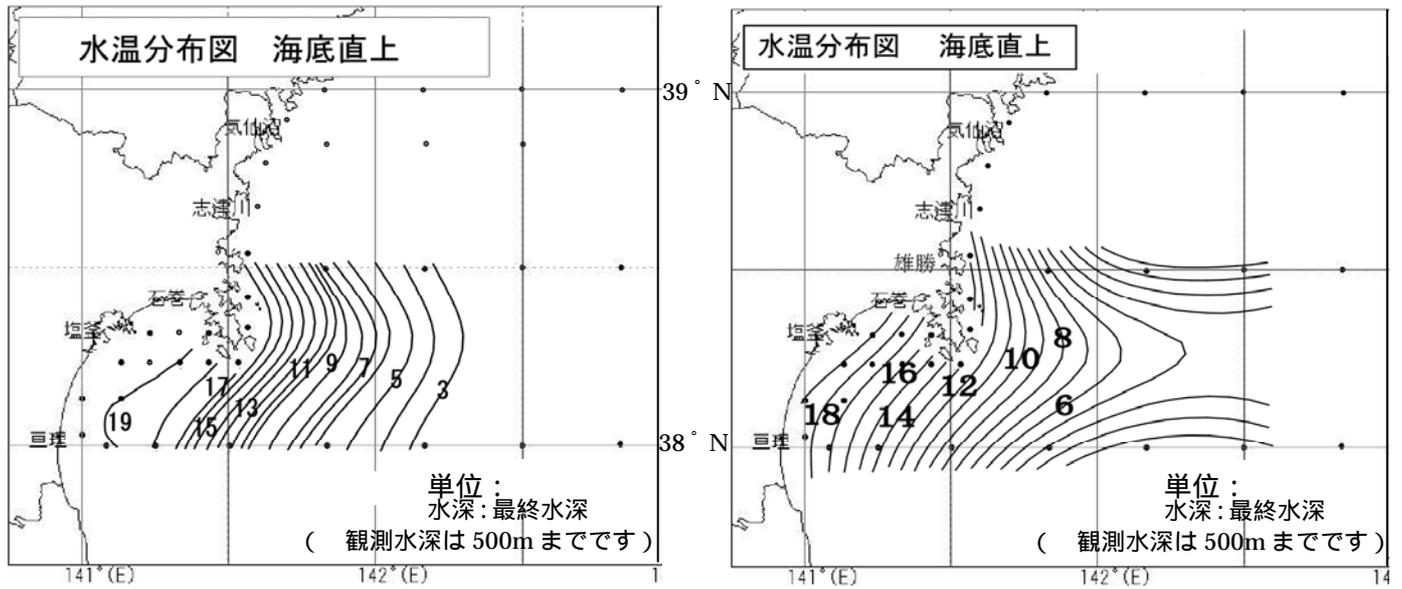
・定地海洋観測結果()

	8月下旬(平年比)	平年差	前年差
歌津	20.1(やや低い)	-0.7	-0.3
江島	20.5(やや低い)	-0.9	-0.1
田代島	23.5(平年並み)	+0.2	+1.7

平年差は、江島、田代島：過去30年間、歌津：過去10年間との比較。
 毎日の定地水温情報は当センターホームページでも見られます。
 (<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>)

2. 底層水温図

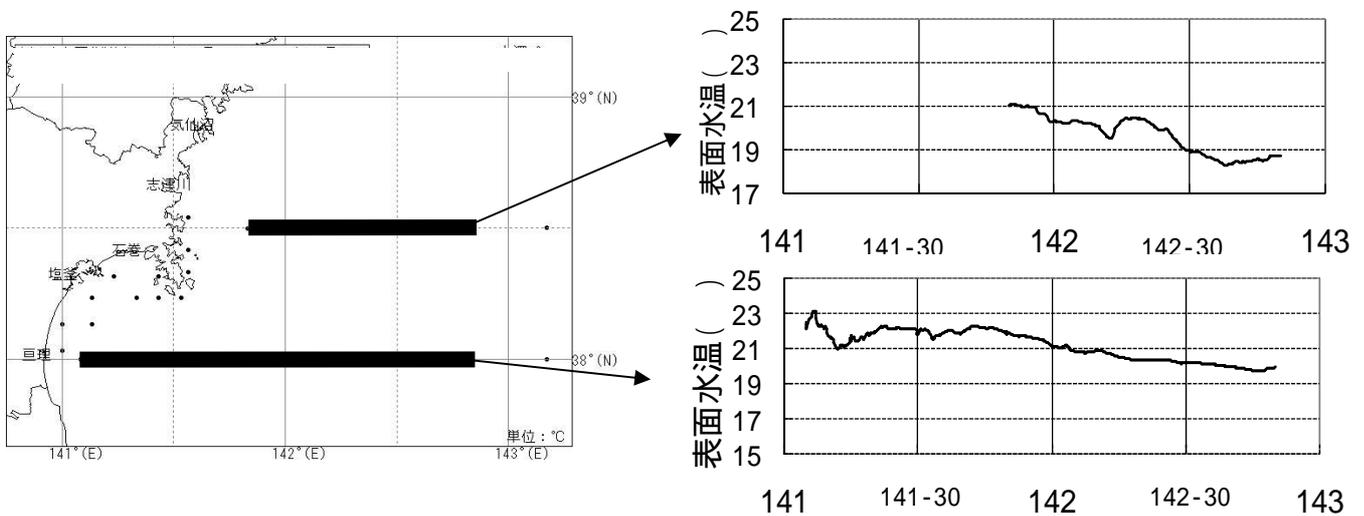
・海底直上水温(2009年9月2日~3日) ・昨年同期の海底直上水温(2008年7月30日~8月5日)



海底直上水温について、仙台湾内は前年よりも高め、沖合海域は前年よりも低めです。

3. 表層水温情報

拓洋丸に搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記のとおりです。



4. 漁況

主要魚種の県内9魚市場の水揚量。(集計期間:2009年8月1日~8月31日, 単位:t)

魚種	小底	まき網	定置網(大型)	定置網(小型)	沿岸イカ釣	延縄	刺網	樺受網	その他	総計	前年比(%)
カツオ		2,004							11	2,015	25
クロマグロ		370	1			1			7	378	5,698
クロマグロ(メジ)			1	0					0	1	23
ピンナガ						10			0	10	25
メバチ		25				81			28	134	75
メバチ(ダルマ)		1							0	1	13
ブリ	0		235	7		0	1		6	249	130
マサバ	2	5,153	1,454	14			1		14	6,637	78
ゴマサバ			2	0						2	59
サンマ			1					1,198	30	1,229	149
マイワシ		68	9	0			0		15	93	5
カタクチイワシ			613	4					10	627	156
ヒラメ	11		1	0		0	13		3	27	187
スルメイカ	22		22	0	610		0		17	670	95

宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

宮城県総合水産行政情報システムの一部改修のため、今回は気仙沼市魚市場の情報は含まれていません。

5. 調査船運航計画

拓 洋 丸	
9月15日～17日	魚礁調査
9月28日～30日	浮魚調査

開 洋	
9月15日	C/N同位体調査
9月16日	海底耕耘調査
9月16日～17日	魚礁調査
9月28日	多項目水質調査
9月30日～10月1日	貧酸素水塊分布調査

6. 大型クラゲ情報（平成21年9月8日現在）

今年の大規模クラゲの出現量は多いと推測されており、(社)漁業情報サービスセンターからの情報によると、現在、福井県や石川県の定置網では千個を超える入網が確認され、来遊の先端は津軽海峡を通過して岩手県沖に到達したとの情報が寄せられています。今後、本県への来遊も予想されるため、今後の動向に十分ご注意ください。

なお、最新の大規模クラゲの出現状況は(社)漁業情報サービスセンターのホームページからご覧になれます。

アドレス <http://www.jafic.or.jp/kurage/>

イカ類漁場調査結果

8月17～18日、8月19～20日に県漁業調査指導船「拓洋丸」でイカ類漁場調査（イカ釣り）を行いました。この調査はスルメイカ南下期におけるイカ類の分布状況等を把握するため、宮城県、北海道、青森県、岩手県の各水産研究機関、北海道区及び東北区水産研究所と共同で8月に実施しているものです。

調査結果の概要は表1、図1のとおりです。調査点毎のスルメイカのCPUE（釣機1台1時間あたりの釣獲尾数）は0～4.0尾、平均1.43尾でした。また、釣獲されたスルメイカの外套長は16～23cmでした。同様にアカイカのCPUEは0.50～0.7尾、平均0.57尾、外套長は15～30cmでした。

表1 イカ類漁場調査結果

調査地点	調査月日	開始時刻	操業時間	釣機(台)	スルメイカ釣獲尾数	水深(m)	水温(°C)			外套長組成(cm)																
							表面	50m	100m	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25						
St.1	8月17日	18:45	2時間	3	19	357	21.4	15.18	13.09		3	4	4	1	2	2	2	1								
St.2	8月17日	21:55	2時間	3	5	603	20.8	15.06	12.38				1		3	1										
St.3	8月18日	1:15	漁具破損のため調査できず			841	21.2	14.32	11.27																	
St.4	8月19日	18:40	2時間	2	16	365	24.0	13.03	11.85					2	7	6		1								
St.5	8月19日	21:40	2時間	3	0	725	24.1	14.12	11.55																	
St.6	8月20日	2:45	2時間	3	0	958	23.8	14.93	11.40																	

調査地点	調査月日	開始時刻	操業時間	釣機(台)	アカイカ釣獲尾数	水深(m)	水温(°C)			外套長組成(cm)																
							表面	50m	100m	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
St.1	8月17日	18:45	2時間	3	3	357	21.4	15.18	13.09	1		1														
St.2	8月17日	21:55	2時間	3	4	603	20.8	15.06	12.38								2								1	
St.3	8月18日	1:15	漁具破損のため調査できず			841	21.2	14.32	11.27																	
St.4	8月19日	18:40	2時間	2	1	365	24.0	13.03	11.85				1													
St.5	8月19日	21:40	2時間	3	4	725	24.1	14.12	11.55				1	1	1	1										
St.6	8月20日	2:45	2時間	3	4	958	23.8	14.93	11.40				2	1								1				

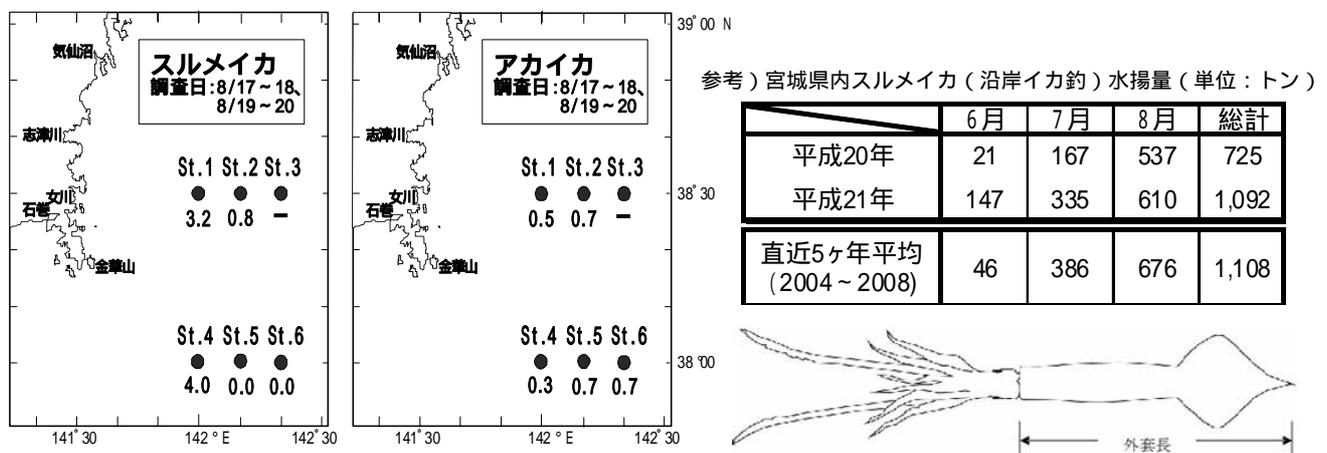


図1 釣機1台1時間あたりの釣獲尾数（尾/時間・台） 参考) スルメイカの体長測定部位